

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 SDGs推進ネットワーク連携促進事業費 補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 清流の国づくり政策課 地方創生係 電話番号：058-272-1111 (内 2245)

E-mail：c11122@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 50,000千円 (前年度予算額(6補)：50,000千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度 (6補)	50,000	50,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	50,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けた取組みが、幅広い分野や地域で展開されることが重要である。このため、県内の企業や団体、NPO、個人など多様な主体が連携し、SDGsを原動力とした地方創生の実現を目指す「オール岐阜」による組織として、推進ネットワークを設置している。

ウィズコロナ、アフターコロナ社会を見据えた「new normal(新しい日常)」の定着・進展が見込まれる中、SDGs推進ネットワーク会員のさらなる増加、会員間の相互交流等が課題となっている。

(2) 事業内容

ウィズコロナ、アフターコロナ社会を見据えた「new normal(新しい日常)」に資する事業に対する助成

(対象事業例)

- ・ 店舗のDX化 (デジタル化)
- ・ 新分野進出 (業態変更)

【補助対象】 SDGs 推進ネットワーク会員 (市町村除く)

【補助率】 1 / 2 以内 (単独事業)、3 / 4 以内 (連携事業)

【上限額】 1,000 千円 (単独事業)、5,000 千円 (連携事業)

(3) 県負担・補助率の考え方

SDGs 推進ネットワーク会員 (市町村除く) の取組む事業への支援が必要であり、県が積極的に実施する必要がある。

(4) 類似事業の有無

岐阜県清流の国ぎふ推進補助金 (SDGs 推進事業)

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	50,000	
合計	50,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

< 創生総合戦略での位置づけ >

- ・ 創生総合戦略には、「『誰一人取り残さない』社会の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むSDGsの達成など国を挙げた取組みとも軌を一にして取り組んでいく必要がある。」と記載しているほか、政策の方向性に関連したSDGs 17のゴールのアイコンも明記している。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

ウィズコロナ、アフターコロナ社会を見据えた「new normal（新しい日常）」の定着・進展が見込まれる中、SDGs推進ネットワーク会員の増加や会員間の相互交流をはじめ、県内へのさらなるSDGsの普及啓発を図るため、コロナ社会を見据えた新たな取組みを支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
ネットワーク会員数	265人 (R2)	—	—	—	700人 (R4)	38%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>ウィズコロナ、アフターコロナ社会を見据えた「new normal（新しい日常）」の定着・進展が見込まれる中、SDGs推進ネットワーク会員の増加や会員間の相互交流をはじめ、県内へのさらなるSDGsの普及啓発を図るため、コロナ社会を見据えた新たな取り組みを支援する本事業の必要性は非常に高い。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ネットワーク会員間の相互交流、会員に対する加入メリット、県内へのさらなるSDGsの普及啓発

(次年度の方向性)

--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	